

「こえかけ」を大切に

ある和泉市の保育園の園長様が作成した「園だより」を読ませていただいて、なるほどと感心したところがありましたので引用させていただきます。

植物を育てるのに適切な「肥料」を与えると成長が促されます。昔、田舎では肥料のことを「肥」（こえ）と言いました。子どもの成長も『こえ』かけが大切です。つまり、「肥え＝声」につながるように思います。「大人は自分のことをよく見てくれている、認めてくれている」と感じる声かけは、自己肯定感を育むことに通じます。

自己肯定感とは

「ぼくは、ぼくだから大丈夫。わたしだから大丈夫」
「ぼくは必要とされている。わたしは愛されている」
「ぼくは自分が好き。わたしはわたしのことが好き」

と思える強い心です。

自己肯定感が育まれると

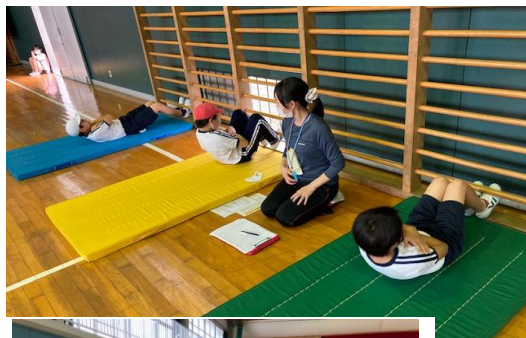
何かに挑戦して学んでいける
壁を乗り越えられる
相手の気持ちや立場を思いやれる

こんなことができるようになると言われています。とても大切なものです。自己肯定感を育むための最大の方法は、やはり「**親や教師の声かけ**」です。そして、自己肯定感を育てる言葉とは、「子どもを認める言葉」です。

しかし、「ほめること」が大事なのはわかっていますが「どうほめればよいのかわからないです」という場合もあろうかと思えます。それもそのはず。ほめるところがたくさんある子どもなんて存在しません。「競争して1位になった・100点とった・表彰された」など特別なことなんて毎日起こりません。特別なときだけほめると、ほめて欲しくて嘘をつく子どもになるかもしれません。「**当たり前**の**ことができたときに、口に出してほめる**」これが出発点です。当たり前で些細なことをほめる「声かけ」ができるように日頃から気をつけていきたいものです。

【お知らせ】

- ・8月10日（火）～13日（金）は、学校閉庁日です。
- ・2学期始業式は、8月25日（水）です。8月中の給食はありません。
2学期給食開始は、9月1日（水）からです。
- ・今年度の卒業式は、令和4年3月15日（火）です。



5, 6年生で「スポーツテスト」を行いました。
写真は「上体起こし」「立ち幅跳び」「反復横跳び」です。

「たてわり活動」をしました。「自己紹介」の後、「フルーツバスケット」「イス取りゲーム」「宝さがし」など異学年で楽しみました。

